

戦

評

大会名

第36回 福岡県選抜バレーボール小学生大会

男子・決勝

期日： 2024年 11月 17日(日)

会場： 福岡市民体育館

ファーストレフェリー： 原田寛

セカンドレフェリー： 関田隆二

スコアラー： 梅本功太

補助員： 粕屋JVBC

幸袋ジュニア 2 ( 21 - 9 / 21 - 11 ) 山川ジュニア

試合時間 0 時間 33 分

全国王者幸袋ジュニアに挑む山川ジュニア。1セット目、幸袋ジュニア橋宮崎のスパイクで相手ミスで5連続得点でスタート。その後も、橋宮崎のスパイクを中心に2番吉永のAクイック、1番キャプテン下村のライトスパイクを交えながら、多彩な攻撃で山川ジュニアを圧倒した。

2セット目も橋宮崎のスパイクを中心に次々と得点を重ねていく。

山川ジュニアもキャプテン1番田崎、5番伊藤のスパイク等で得点を重ね粘りが、1セット目同様、橋宮崎中心に5番セッター植木による多彩な攻撃に不向きで、20点目に棄てる。ラストは藤金子が選手交代でサーブに乗り出し、見事、サービスエースで幕を閉じる。

全国優勝、王者の強さを見せつけるゲームとなった。

※ 7~10行にまとめること。

戦評者： 宮本聖司

大会名

第36回 福岡県選抜バレーボール小学生大会

女子・決勝

期 日 : 2024年 11月 17日(日)

会 場 : 福岡市民体育館

ファーストレフェリー : 茂田エミ

セカンドレフェリー : 和田義廉

スコアラール : 浦田訓之

補助員 : 神輿東ジュニア

鞍手JVC 2  $\begin{pmatrix} 21 - 16 \\ 21 - 6 \\ - \end{pmatrix}$  柳川ジュニア

試合時間 0 時間 33 分

全国制覇後三冠がかかる筑豊地区鞍手JVCと全日本大会準決勝同一カード筑後地区柳川ジュニアとの対戦となった。オセット柳川2、古賀愛瑠のサーブで幕を開けた。鞍手5、平川美緒の強烈なスパイクが決まり先制点。鞍手の強弱ある多彩な攻撃が繰り広げられるが柳川も好リブで繋ぐ。序盤一進一退の攻防が続く。柳川4、小嶋、1、野林のスパイクで反撃するも終盤鞍手の4連続ポイントでオセットを奪取した。オセット柳川4、小嶋2、古賀愛瑠がスパイクを決めるも、鞍手5、春日の好リブで繋ぎ相手のミスを誘う。鞍手5、平川美緒がサーブで崩し得点を重ね柳川が応戦するも、鞍手が勝利し、三冠達成の偉業を成し遂げた。

※ 7~10行にまとめること。

戦評者 : 瀧川ルミ

戦

評

大会名

第36回 福岡県選抜バレーボール小学生大会

混合・決勝

期日： 2024年 11月 17日(日)

会場： 福岡市民体育館

ファーストレフェリー： 待鳥 昌光

セカンドレフェリー： 山下 遼

スコアラール： 大屋 真

補助員： 西花 大用 F

大里南 2  $\left[ \begin{array}{l} 21 - 11 \\ 21 - 12 \\ - \end{array} \right]$  0 香春町

試合時間 0 時間 32 分

大里南は男子一枚、香春町は男子五枚と対称的な構成であった。序盤より大里南のサーブが有効で、前衛3枚も安定しており徐々にリードを広げた。大里南①神近選手の連続サーブミスでブレイクを取り、香春町も④瀬口選手のスパイクでくらいつくが、第1セットは21-11の大差で大里南が先取した。

第2セットも第1セットの勢いをそのままに大里南が安定感を見せ、徐々にリードを広げた。香春町もサーブで攻め反撃するが及ばず21-12で大里南が優勝を決めた。

※ 7~10行にまとめること。

戦評者： 成田 純任